



徳島県の畜産JGAP普及 に向けた取組みについて

徳島県農林水産部畜産振興課

畜産を取り巻く情勢

○「畜産ブランド」の競争激化

○「経済のグローバル化」の加速化

- ・ 東京オリ・パラ
「畜産JGAP」食材調達基準
- ・ TPP、日EU・EPAの発効
- ・ 日米貿易協定の最終合意

県内生産者・関係団体の声

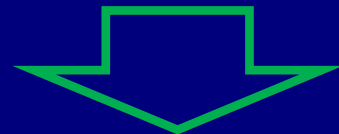
- ・「経済のグローバル化」の影響について
⇒心配である(73%)
- ・輸出への興味・関心について⇒ある(24%)
- ・ブランド力強化や品質向上の取組みが必要
- ・安全・安心な畜産物の生産が必要
(「畜産JGAP」等認証取得)
- ・輸出にあたり、勉強会の開催や輸出関連情報の提供

徳島県の状況分析

- ・「安全・安心な県産畜産物」の確立
- ・環境問題等、畜産業の将来を見据えた
取組み強化



「とくしま畜産物」の認証拡大&レベルアップ



国内外で評価される「畜産ブランド」確立

令和元年度「とくしま三ツ星ビーフ」誕生

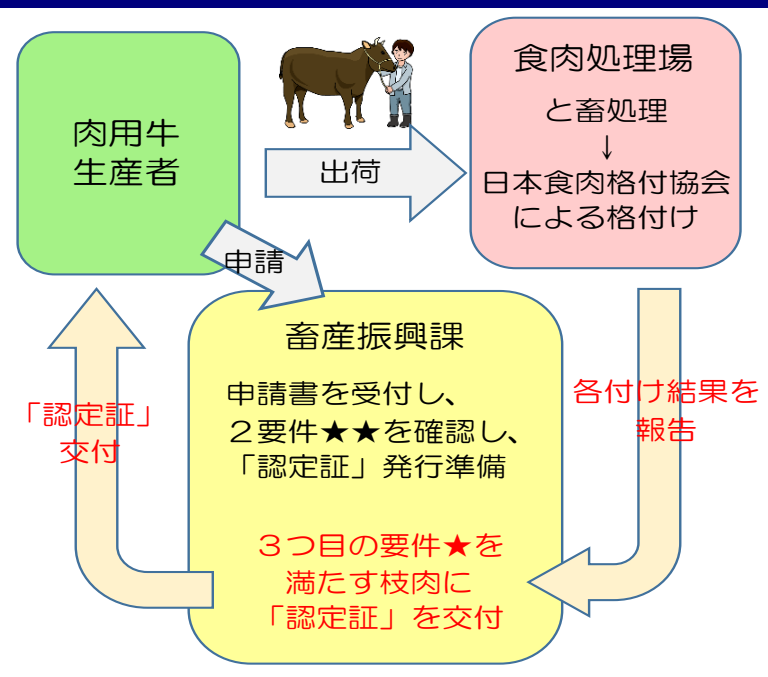
グローバル化の影響が最も大きい牛肉について、
畜産JGAPを必須要件とした、
「とくしま三ツ星ビーフ」牛肉認定制度を創設

	ゴールドスター		シルバースター	
				
牛の種類 ロゴマーク	黒毛和種		交雑種 (黒毛和種 と乳牛を交 配)	
1. 牧場の要件 	JGAP認証牧場		JGAP認証牧場	
2. 飼育の要件 	徳島県内で出荷前1年以上飼育		徳島県内で出荷前1年以上飼育	
	28か月齢以上で出荷		25か月齢以上で出荷	
3. 肉質の要件 	歩留等級A又はB		歩留等級A又はB	
	肉質等級4以上		肉質等級3以上	

「とくしま三ツ星ビーフ」認定制度

厳しい要件を満たした枝肉について、徳島県が1頭ごとに審査し、認定

令和元年12月から本格的に運用開始



【交雑種部門】

全国に先駆け、徳島ならではの
交雑牛ブランドの発信



「とくしま三ツ星ビーフ」これまでの実績

・認定頭数

ゴールドスター(黒毛和種)： 526頭

シルバースター(交雑種)： 4,123頭

・認定生産者(畜産GAP認証牧場)：3件

・取扱店

精肉店：7店 飲食店：28店



「とくしま三ツ星ビーフシルバースター」の取組み

- ・官民一体となったブランド確立対策協議会設立
- ・生産振興、畜産GAP
- ・需要喚起及び販路拡大

とくしま三ツ星ビーフシルバースターフェア開催

開催時期：令和4年1月13日から19日

場 所：グランイート銀座（東京都）



今後の首都圏での販路拡大活動予定

令和4年3月 東京都内 10数カ所の飲食店等

「とくしま三ツ星ビーフ・シルバースター」フェア開催予定

問い合わせ先

「とくしま三ツ星ビーフ」HPにおいて、

参加店舗随時掲載予定

<https://tokushima-mitsuboshi-beef.com/>

徳島県農林水産部畜産振興課

電話番号：088-621-2416





ご清聴ありがとうございました